

2 （仮称）鎌倉ロードプライシングの検討に係る課題と短期的な渋滞対策について

(1) (仮称)鎌倉ロードプライシングの検討に係る課題

<主な課題>

- ロードプライシングの有効性を検証するためには、
 - ・休日交通状況を再現
(休日ODはデータとして存在しない)
 - ・料金による行動変化の想定
などを行わなければならない。
- ロードプライシングの制度・採算性等を確認するためには、
 - ・料金収受のシステム設定
 - ・国内諸制度の状況整理
などを行わなければならない。

国内事例が無い中、
市では想定、設定が
困難。



<課題解決の方向>

ロードプライシング導入の
ためには、

○オリ・パラでの首都高の
交通対策検討などの、高
度な交通分析の実績

○電子料金収受システム実
装による実績

などを有する
国からのより一層の支援が
重要。

(2) 短期的な渋滞対策(案)

ロードプライシングの検討と並行して、短期的に実施可能な渋滞対策を進め、鎌倉地域内の交通環境の改善を図る必要がある。

(以下に示す施策について、主に取り組むことを考えている。)

① スマートフォンを活用した交通誘導施策

② 観光バスの駐車対策

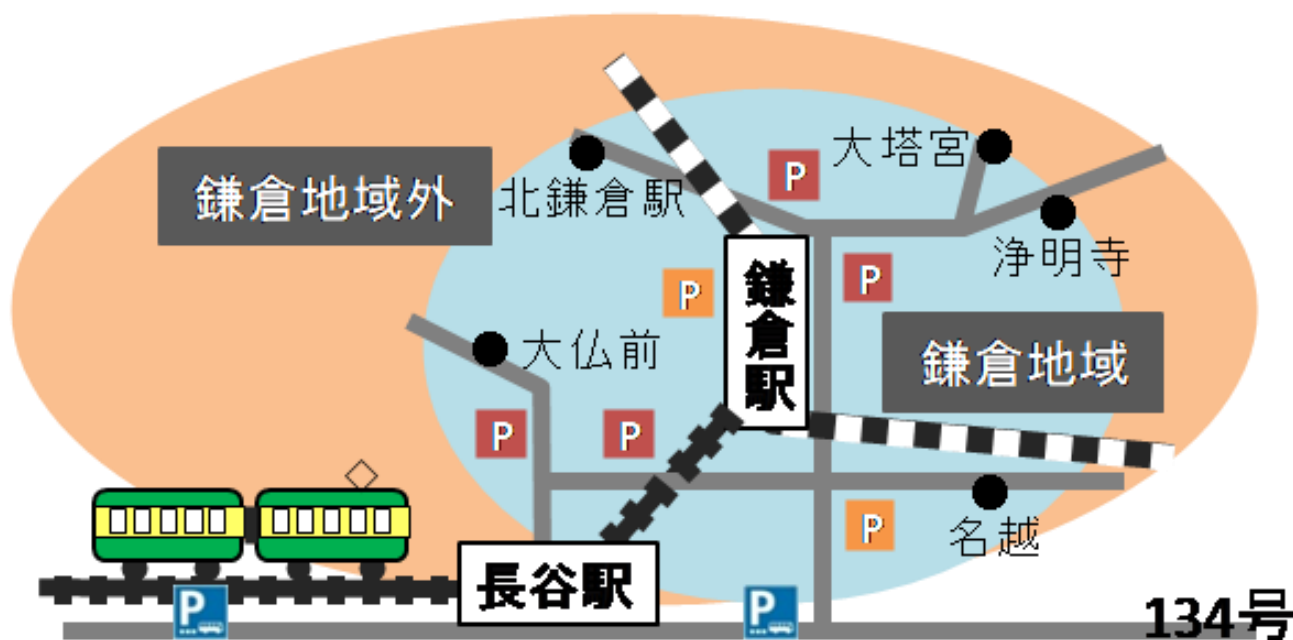
③ 主要交差点における渋滞対策の検討

④ その他(デジタルサイネージやカメラ画像を活用した情報発信 等)

① スマートフォンを活用した交通誘導施策

(実 施 内 容)

- 自動車での来訪者に駐車場の満空情報を配信(スマートフォンを活用した配信)
- 上記と連動した情報配信による交通誘導の実証実験を想定
(「鎌倉地域外のパーク&ライド駐車場への誘導」を視野)



② 観光バスの駐車対策

(実 施 内 容)

- 長谷地区の大仏前駐車場前において、ピーク時に駐車場に入庫出来ない観光バスが路上のバス停で乗降させている等により交通渋滞が発生



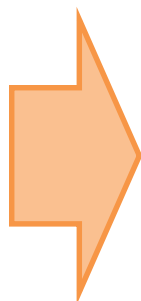
- 大仏前駐車場では乗降のみとし、待機場所として他の駐車場に誘導する「ショットガン方式」の実証実験を想定(関係者と調整中)

③ 主要交差点における渋滞対策の検討

(実 施 内 容)

- 「八幡宮前」、「下馬」、「長谷観音前」交差点では、著しい交通渋滞が発生
- 歴史的環境の保全など様々な制約があり、大規模な道路改修は困難

上記交差点の
渋滞要因分析



- ・大規模でない改善策の検討
(例)
- ・信号制御、道路空間の再編等